

資料2.

御堂筋の将来像について

御堂筋の将来像について

御堂筋については、今後、周辺地域を含めて、「賑わい」「回遊性」の向上を目指すとともに「新しい都市魅力」を創出していく。
また、このようなまちづくりを支えるためにも喫緊の課題である自転車利用の適正化を図る。

多様な顔をもつストリート

市民に親しまれる場

オープンフェスタ、Kappo、大阪クラシック、
光のルネサンス、彫刻ストリート



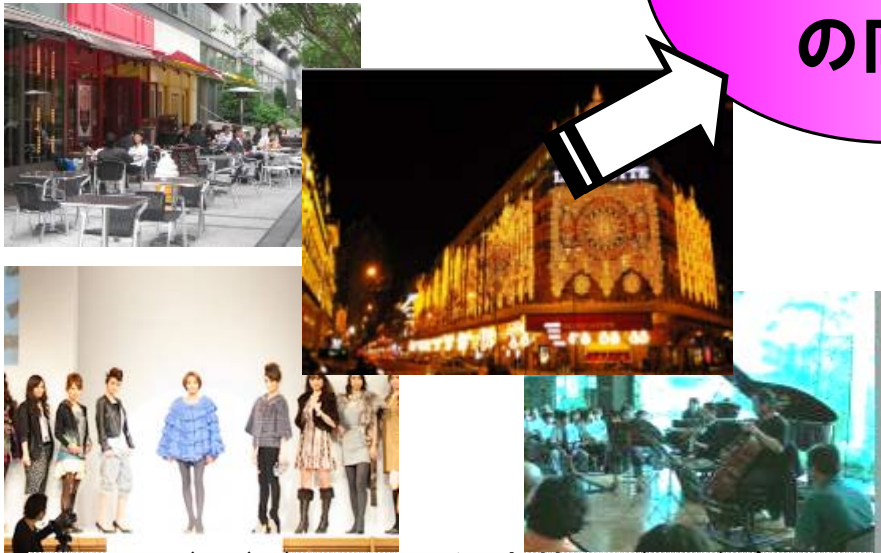
沿道の魅力あるまちなみの形成

御堂筋まちなみ誘導制度
建築美観誘導制度



世界的なブランド街の形成

御堂筋の
“ポテンシャル”
の向上



クリエイティブ・デザインによる御堂筋のブランドづくり
御堂筋クリエイティブ・デザインの仕組みづくり
「御堂筋デザインストリート」推進事業

クリエイティブ・デザイン



まちなみ資源の再生・活用事業
HOPEゾーン事業(船場地区)

歴史的・文化的資源の活性化

賑わい

回遊性

新しい都市魅力

経済成長

市民協働による 放置自転車対策



放置自転車対策

回遊性向上

自転車利用の適正化



歩行者と自転車が共存できる
空間づくり社会実験

自転車走行対策

地域の喫緊課題の解決“歩行者の安全性向上”

御堂筋の喫緊の課題解決について ～自転車利用の適正化～

■ 歩行者と自転車の共存にむけて(社会実験の実施)

背景

市内では放置自転車が大きな問題となっており、市民協働で対策を進めている。その一方で、自転車の無謀な運転やルールを無視した走行などによって、自転車に起因する事故が近年急増しており、放置自転車と同様に歩行者の安全・快適な通行の妨げとなっている。また、自転車対歩行者の事故において高額な賠償金の支払いを命じられるケースも発生している。

実験目的

市域全体の自転車利用適正化を目指す

取組みのスタートとして、効果的なステージである

御堂筋の歩道において、歩行者が安全に歩ける環境づくりに取り組む

将来的には市域全体で、「とめる」「はしる」がきちんと行われるように、市民協働による継続的な啓発活動等を行い、自転車利用の適正化を図る。

実験内容

- 御堂筋の歩道において、自転車利用者の適正利用を促すために「走行ルールの周知」や「駐輪マナーの啓発」を行う。
- 地元のみなさんの協力を得て、共に啓発等を行う。
- 実験に際して、交通量測定やアンケート調査等を行い、効果を検証する。

実験概要(案)

<実験対象区間>

御堂筋の淀屋橋交差点(土佐堀通)～難波西口交差点までの歩道上

<実験期間>

平成23年秋(9月頃)の1ヶ月間を予定(土日祝日を含む)

(9月21日～30日 秋の全国交通安全運動)

※詳細の実験区間、期間については、現在検討中。

※実験は国土交通省大阪国道事務所と共に実施。

<啓発員の配置・啓発内容>

◆啓発員、地元(住民や企業など)、市職員などが、自転車利用者(信号待ちをしている)や歩行者に対し、啓発①②③を行う。

①「自転車走行ルール」「駐輪マナー」等の『チラシ』を配布

②『のぼり』を持って「自転車走行ルール」等の呼びかけ

(特に、歩行者が多くて危険性が高い時間帯に)

③『自転車を降りて押し歩いてもらうための呼びかけ』



市民に親しめる場

御堂筋の道路空間やその周辺、沿道の建物などを利用し、イベント等を実施

- 御堂筋オープンフェスタ
- 御堂筋kappo
- 大阪クラシック
- OSAKA光のルネサンス
- 御堂筋景観整備(彫刻ストリート)及び景観形成方策推進
 - ・彫刻ガイドツアーの実施等

クリエイティブ・デザイン

- クリエイティブ・デザインによる御堂筋のブランドづくり
 - ・御堂筋をデザインストリートとして展開していくための構想づくりや効果的なプロモーション展開の検討
- 御堂筋クリエイティブ・デザインの仕組みづくり
 - ・御堂筋や船場周辺の場を、クリエイター等に「製作の場」、「発表の場」として情報提供し、クリエイターやビルオーナー等がマッチングする仕組みづくり
- デザインストリート推進事業
 - ・御堂筋界隈で、国際デザインシンポジウムやクリエイターによる作品展示会・セミナーを一定期間、同時開催

歴史的・文化的資源の活性化

- まちなみ資源の再生・活用事業
 - ・大阪の特徴的な歴史資産であるレトロビル等で、所有者と協働し、修復再生やライトアップを実施
- HOPEゾーン事業(船場地区)
 - ・船場地区において、地域と市が連携・協働して、地域特性を活かした建物の修景整備等、具体的なまちなみづくりを推進

自転車利用の適正化

- 市民協働手法による放置自転車対策
 - ・地元と協働して放置自転車の撤去や指導啓発の実施
- 御堂筋における歩行者と自転車が共存できる空間づくり社会実験
 - ・御堂筋での「自転車押し歩き」の呼びかけを実施

御堂筋のポテンシャルの向上 ～ゾーンイメージ～

これまで、市民協働により様々な活性化の取り組みが行われてきた。
今後も、この取り組みを踏襲しつつ、地域の状況を踏まえたみちづくりを目指す。

阪急前～淀屋橋交差点(梅田駅～淀屋橋駅)
うるおい・ゆとりのあるアメニティ空間

淀屋橋～新橋交差点(淀屋橋駅～心斎橋駅)
風格と活力のあるビジネス空間

- 特に淀屋橋から本町3交差点間については、「御堂筋まちなみ誘導制度」により、建築物の新築または増築する際に、4mの壁面後退誘導などを行っている。
- 大阪のシンボルストリートにふさわしい、うるおい・にぎわい・ゆとりのある魅力ある歩行者空間を形成。

新橋～難波西口交差点(心斎橋駅～なんば駅)
にぎわいのあるアミューズメント空間

- 繁華街に近く、百貨店やブランド店などが集積。
- 歩行者の数も多く、人々が楽しく・安全・快適に歩くことができ、にぎわいのある歩行者空間を創出。
 - 自転車に関連する社会実験*などを実施しつつ、歩行者・自転車と自動車交通の両立を考慮した緩速車線の活用も検討が必要。

※今年度秋頃には、「歩行者と自転車が共存できる空間づくり社会実験」を実施予定(既存空間ポテンシャル向上検討)

